

番号	23	平成28年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課
事業名	地すべり対策事業			事業主体	静岡県		
箇所名	ひがし うん な 東 雲 名			関係市町村	浜松市		
事業採択年度	平成 24 年度	計画期間	平成24年度 ~ 平成32年度				
用地着手年度	平成 25 年度	工事着手年度	平成 25 年度				
再評価理由※	事業採択(H24)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 310	投資状況 (百万円)	~H26年度 89	H27年度 28	H28年度見込 40	計 157	
事業概要	<p>(1)事業目的 東雲名地区は、人家及び一級河川平沢川、県道大輪天竜線を含む地すべり危険箇所であり、人家建具の歪みなど地すべり活動の兆候が確認されているため、早期に防止工事を実施し、保全施設の被害の軽減を図る。</p> <p>(2)事業内容 計器観測、集水井工 H=15m~22m N=4基、 横ボーリング工 L=225m~250m N=3箇所</p>						
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 地すべりの発生の際に被害が想定される区域には、人家14戸、1級河川平沢川、県道大輪天竜線、市道天竜片瀬線がある。 当該地区において、人家建具の歪み道路構造物の亀裂など、地すべり活動の兆候が確認されており、早期に地すべり防止対策が望まれる。</p> <p>(2)事業の投資効果 投資効率(費用対効果) : 4.09 総便益: 1,093百万円 総費用: 267百万円 (整備後50年間の維持管理費を考慮)</p> <p>(3)事業の進捗状況(H28まで) 【事業費進捗率】 50.6% 157百万/310百万 【事業量進捗率】 横ボーリング工 100% (715m/715m) 集水井工 25% (1基/4基)</p>						
事業の必要性	<p>評価 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】	<p>本事業は、住民の生命財産、一級河川などの公共施設を保全する事業で、住民の生活に密着しており、アンケート結果からも住民の関心は高く事業に対する期待も大きい。</p> <p>未施工: 集水井3基 今後、計器観測により対策工の効果判定を行いながら、H32年度概成を目途に事業を実施していく。</p>						
今後の事業の進捗の見込み	<p>評価 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点3】	<p>計器観測により、対策工の効果判定を行いながら、より効果的な抑制工の施工順序の検討を行う。</p>						
新たなコスト削減・代替案立案等の可能性							
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を(継続) ・ 見直し後継続 ・ 中止)する。</p> <p>(2)理由 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の促進を図る。</p>						

費用対効果算出説明書

「東雲名」地すべり

(「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国道交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	1,093百万円
総費用C	[建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]	267百万円
B/C		4.09

総便益

[地すべり対策事業を実施しない場合の被害額]－[地すべり対策事業を実施した場合の被害額]
年平均被害軽減期待額を評価対象期間59年(整備期間9年＋耐用期間50年)について累計する。
ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(平成28年)に基づくデフレーター及び社会的割引率
(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{便益計} &= \sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n \\ &= 1,093 \text{百万円} \end{aligned}$$

※年平均被害軽減期待額: 地すべり防止区域内で毎年発生する補修費(地すべり直接被害区域内資産の1%)と、地すべり発生の生起確率(1/50)を被害軽減額に乗じた合計。

※整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

総費用

[建設費]－[評価期間内に必要な維持管理費]
各年次の建設費と維持管理費(建設費の1%)を評価対象期間59年(整備期間9年＋耐用期間50年)について累計する。
ただし、各年次の建設費及び維持管理費は算出基準年(平成28年)に基づくデフレーター及び社会的割引率(年4.0%)で現在価値化したものとする。

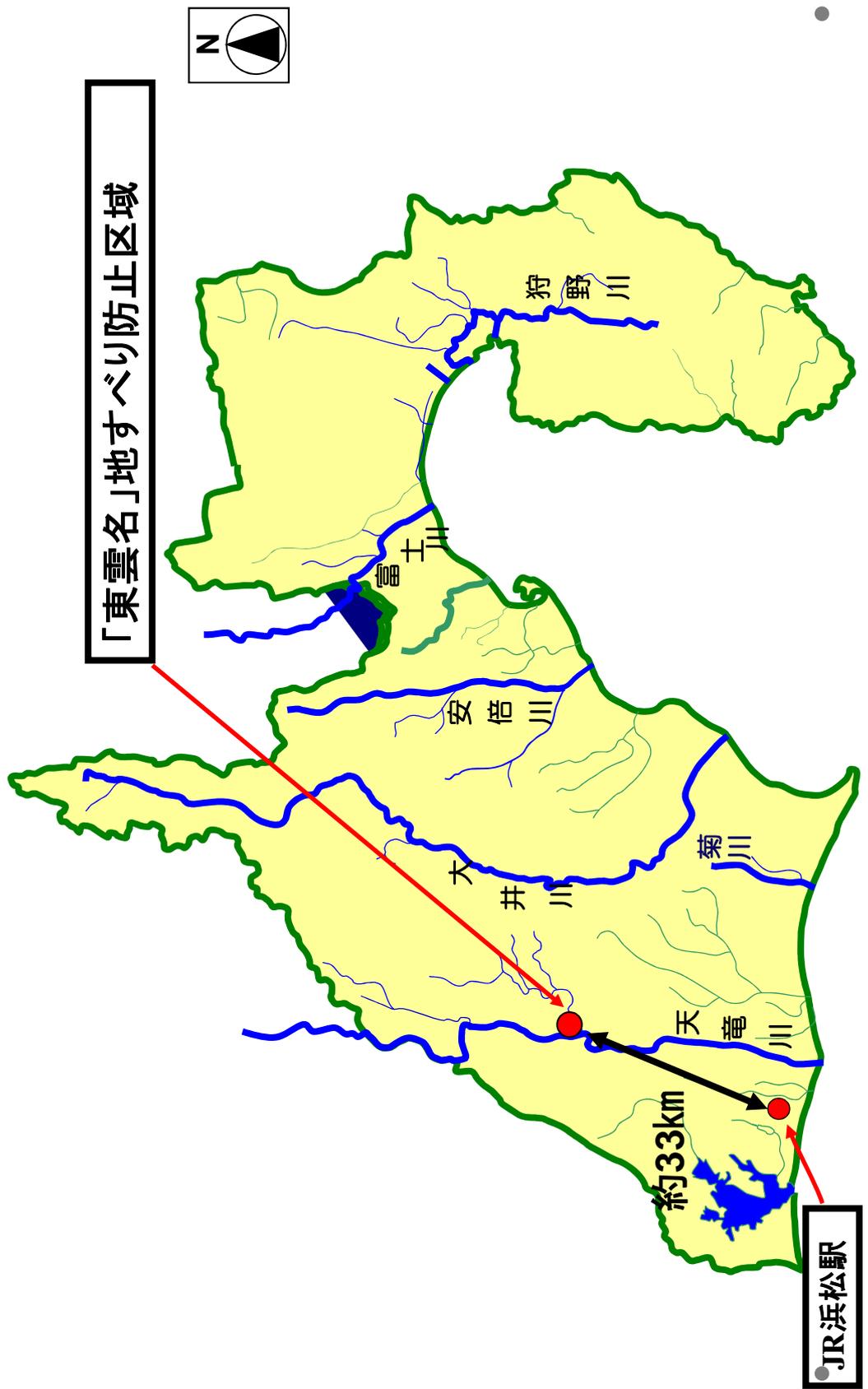
$$\begin{aligned} \text{費用計} &= \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\ &= 267 \text{百万円} \end{aligned}$$

※整備期間中の維持管理費は、投入済建設費に対して発生するものとする。

【対象箇所】

「東雲名」地すべり防止区域：浜松市天竜区東雲名

JR浜松駅から北に約33km



【事業概要】

(1) 事業目的

地すべり防止施設を整備することにより、人家、河川及び道路等の公共施設について地すべりによる被害を低減し、住民の安心・安全な生活基盤の確保を図る。

地すべり被害保全対象

- 【人家・公共施設】
人家14戸
- 【道路】
県道大輪天竜線
- 【河川】
一級河川平沢川



— 地すべり防止区域

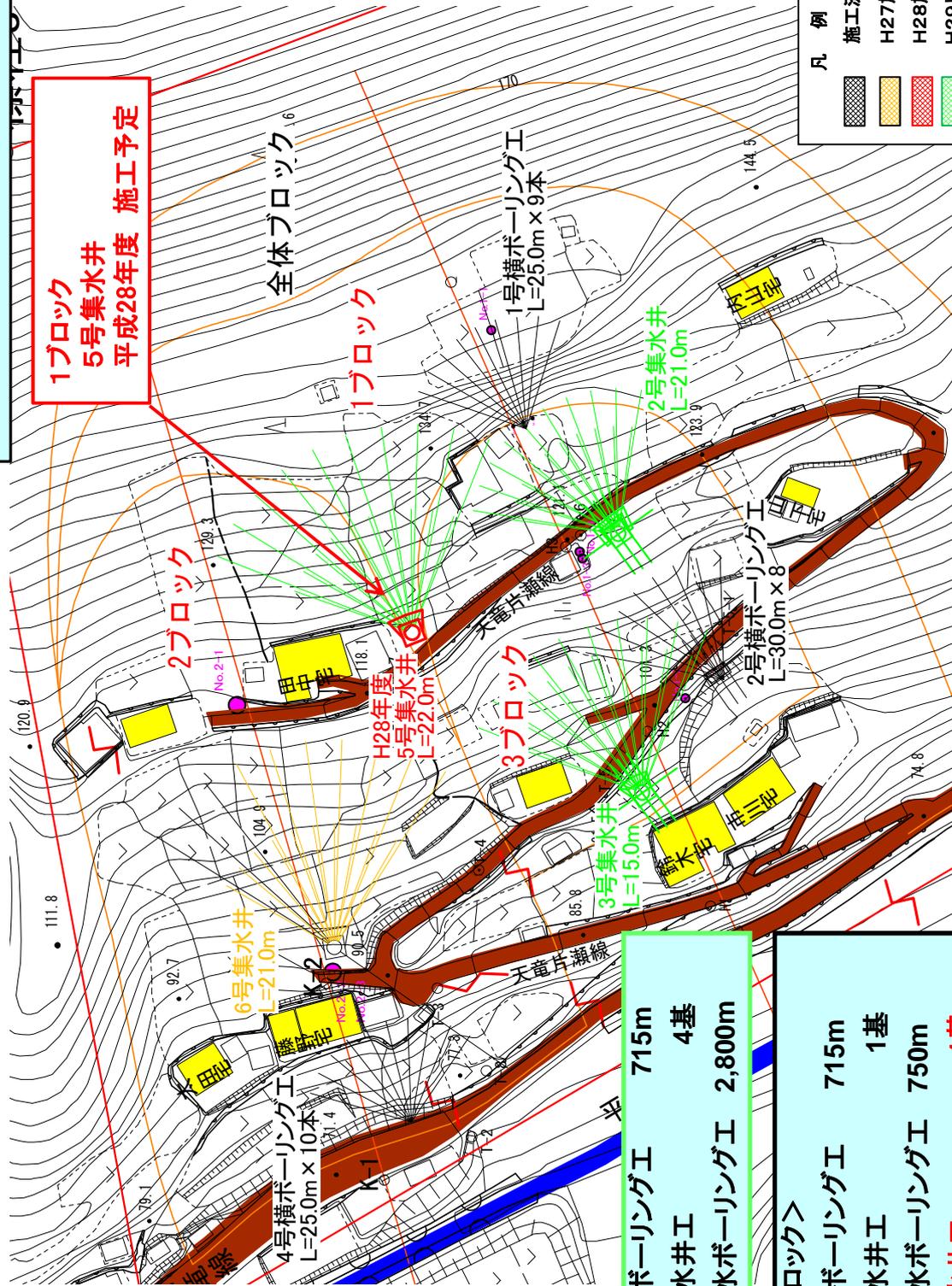
--- 地すべりブロック

【事業概要】

(2) 事業内容

東雲名地すべり防止区域
A=4.71ha

1ブロック
5号集水井
平成28年度 施工予定



凡例

■	施工済
■	H27施工
■	H28施工
■	H29以降

事業計画	横ポーリング工	715m
	集水井工	4基
	集水ポーリング工	2,800m

施工済<2-3ブロック>	横ポーリング工	715m
	集水井工	1基
	集水ポーリング工	750m
H28施工	集水井工	1基